

SECURITY TREND NEWS

Vol.02
2026



Hot Topics 2026 Feb.

- JNSA発表 2025セキュリティ 10大ニュース
- 全国で多発する「CEO詐欺」 ～市長になりすました攻撃も～
- 巧妙化する偽URL ～「一文字のミス」が感染リスクに～

Topic

＼ JNSA 2025年12月25日発表！ ／

01

2025年 10大 ニュース

- | | | |
|-----|-------|--|
| 1位 | 9/29 | 相次ぐ企業へのサイバー攻撃、いまや“災害級”と指摘される脅威
～アサヒGHD、アスクル等のランサム障害、影響は市民にも～ |
| 2位 | 11/28 | サプライチェーンに波及するサイバー被害、賠償問題に発展するケースも
～被害の連鎖、賠償問題から考える委託先管理の重要性と評価制度の意義～ |
| 3位 | 4/3 | 金融庁、証券口座乗っ取り被害急増で注意喚起、監督指針改正へ
～デジタル時代の証券犯罪と20年越しの“認証”問題～ |
| 4位 | 2/27 | 生成AI悪用し不正アクセスの中高校生3人逮捕、12月にも
～圧倒的なAIパワーの光と影 攻撃もAI、防御もAI～ |
| 5位 | 5/16 | 「能動的サイバー防御」関連法案が成立、国家サイバー統括室の設置へ
～欧米主要国並みのサイバーセキュリティ抜本強化を期待～ |
| 6位 | 3/25 | IoT製品に対するセキュリティラベリング制度(JC-STAR)の運用を開始
～適切なセキュリティ対策を備えたIoT製品の普及に期待～ |
| 7位 | 4/16 | IIJ不正アクセス、日本取引所グループや地銀など各所に影響
～セキュリティ維持には持久力と自救力と～ |
| 8位 | 4/6 | 東名高速や中央道などでETC障害 7都県、一部レーン閉鎖
～システム改修の不具合が、大きな社会混乱をもたらす～ |
| 9位 | 8/28 | FeliCaのセキュリティ脆弱性報道で利用者に不安広がる
～脆弱性情報の伝え方や報道の在り方は正しかったのか～ |
| 10位 | 11/20 | 政府方針、2035年までに耐量子計算機暗号(PQC)に移行
～量子コンピューターを悪用する「ハーベスト攻撃」に備えよ～ |

CHECK



(出典)日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)「2025セキュリティ十大ニュース」

攻撃被害が続く一方で、新たな防御の取り組みも進みました。

さらに、AIや基盤技術の脆弱性など将来のリスクも明確になった1年でした。

POINT

1

サプライチェーン被害と賠償問題の深刻化

前橋市、エムケイシステム、大阪急性期・総合医療センター、関通など、過去のサイバー攻撃が時間差で表面化し、数千万円～10億円規模の賠償問題へ発展。サイバー被害が法的責任に波及するリスクは避けられません。

POINT

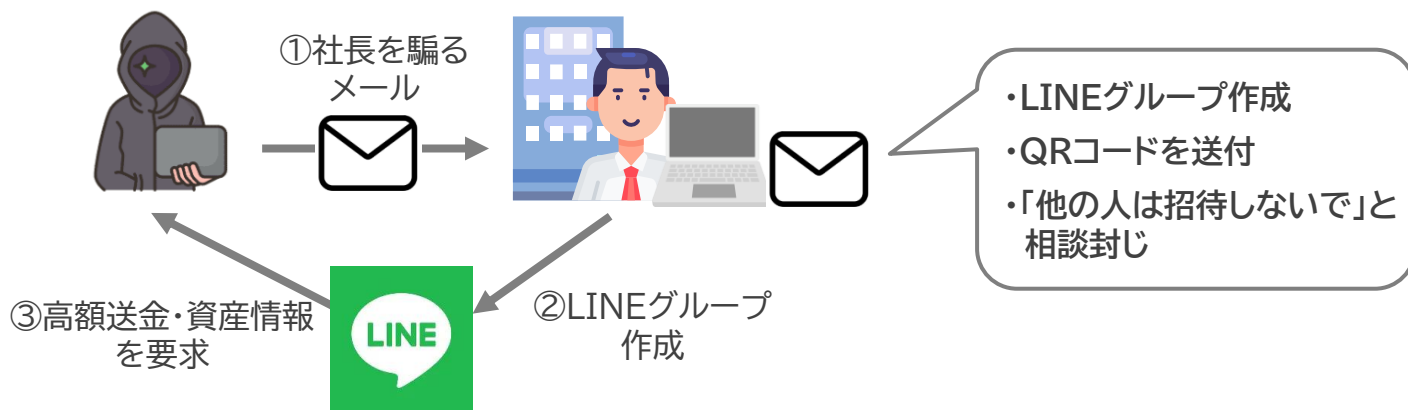
2

委託先管理の重要性が急上昇

賠償トラブルの連鎖を背景に、「委託先管理」は各社にとって最重要テーマのひとつに。経産省が公表した「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」は、従来バラバラだったチェック基準を★3～★5で共通化。

02 全国で「CEO詐欺」が多発！

企業の代表者を装って従業員にLINEグループの作成や高額送金を指示する「CEO詐欺」が、12月中旬以降、全国の企業で多発しています。少なくとも数十社以上が注意喚起を行っており、公共機関の首長を騙る事例も確認されました。



- 詐欺メールには 不自然な日本語 や 正規ドメインと異なる差出人 が共通
- LINEなど外部SNSでの新規グループ作成依頼は原則NG
- 「至急の送金・情報提出」は電話の本人確認
- 怪しい場合は、情報システム・セキュリティ窓口へ通報

03 巧妙化する偽URL



URLを一文字誤入力するだけで、マルウェア感染や詐欺サイトに誘導される危険が高まっています。Infobloxの調査でも、有名サイトに似せたドメインなどを悪用した詐欺が増え、ユーザーの“ちょっとした入力ミス”が狙われていることが示されています。

タイポスクワッティング

google → gogle タイプミスを悪用



ホモグラフ攻撃

見た目が同じ別文字を使った偽URL
(例: ラテン文字“a”とキリル文字“a”)



- 重要サイトは必ず“ブックマーク”からアクセス
- URLの末尾まで確認する習慣を。もしくは、検索経由より公式リンク集を使用
- ブラウザ・OS・エンドポイントの保護を最新に保つ

今だからこそ中小企業に ブランディングが必要な理由

～人材確保と利益率向上を同時に実現する戦略～

セミナー概要

「良いものを作れば売れる」時代は終わり、中小企業は価格競争に直面しています。いま必要なのは、資本力に頼らず「高くても選ばれる」ためのブランディングです。
本セミナーでは、ブランディングの基礎から実践手順までを事例とともに解説し、自社の強みを価値へ変えるヒントをご紹介します。

参加無料
事前登録制

日時

2026年
3月18日(水)
14:00-15:00

- 定員:300名
- 対象:経営層・ご担当者様
- 申込締切:2026年3月13日(金)
- インターネット環境があれば自席で受講いただけます

<講師> コモンズ株式会社
代表取締役社長 **波岡 寛 氏**

<講師 プロフィール>

大学卒業後、国内系広告会社コモンズに入社。
キャノンマーケティングジャパン、横浜ゴム、モスフードサービス、アメリカンエクスプレス、レオパレス21、クラシエホームプロダクツ、ユニフルーティなどで戦略プランナーとしてブランディングを担当。
2007年にブランドコンサルティングとロイヤリティコンサルティングを中心とした会社、コモンズコンサルティングパートナーズ株式会社を設立。
2019年3月宣伝会議発行「CRM2.0」著者。



■セミナー申込サイト

キャノンMJ セミナー

検索



WEBサイト:<https://canon.jp/biz/event>

※お申込みの際に

【会社コード】の入力が必要です。

【会社コード】 G03867

■セミナー紹介動画

セミナーの概要を3分でご紹介しています!

